

利用者様の『戦争の記憶』より

九月に入り、朝晩が肌寒くなりました。もう秋だなとしみじみ感じていきます。

さて先月の十五日は終戦記念日でした。デイケアご利用者様の中にも戦争へ行かれた方がおられます。当時の貴重な品物を持参して下さいだったので紹介させて頂きます。

川瀬喜八様です。十九歳で飛行兵を志願し、整備学校での猛訓練を終え、三重県明野市の戦争部隊に転属され、「国家の為にと生死をかけて過ごしていた。悲しいことはなく、常に熱く強い気持ちで胸に持ち続けていた」と、話して下さいました。昭和十九年の九月に名古屋で激しい空襲にあい、死を覚悟し誕生日に両親へ歌を詠み、髪の毛と爪をザラ半紙に包んだ遺書を送ったそうです。

つつじユニットの焼肉会

8月24日につつじリビングにて待望？の焼肉会を行いました。昨年はホットプレート2台で始めたもののブレイカーが落ちるといったトラブルがあり、結局1台ですす羽目になったため、今回は焼きそばを別室で作り、リビングではホットプレート1台で肉・野菜等を焼く事にしました。また主食のごはんは食べやすいようにおにぎりにしました。昨年のリベンジですね(笑)。皆さんは、長らく焼けるのを待つ事もなく、肉・野菜・焼きそばとスムーズに箸を進める事ができ、「久しぶりでうまいわ〜」と喜びの言葉が聞けたひとときでした。



おいしい焼き肉に舌鼓。

昭和二十年八月十五日に終戦となりましたが、「日本は負けてばかりで、まだ戦う気持ちであったが、仕方なく帰った」と、笑って話して下さいました。



戦争から帰り数十年経った頃、川瀬さんのお父様の荷物から軍隊時代に送った自分の遺書が見つかり、戦争を知らない今の若い人達に自分達の辛い経験、思いを知って欲しいと今回貴重な物を持ってきて下さいます。こうした戦争時代の話や貴重な品物を見せていただく

き、当時の悲惨な状況やお国の為にと戦ってこられた方々の気持ちや伝わり戦争はとも怖いものだと改めて感じました。今の時代がどれほど平和で幸せなのかを実感させられ考えられる良い機会となりました。川瀬さんのお話や戦争時代の話ののっている「出雲北浜誌」という本がデイケアにありますので、皆さんも興味のある方は見に来て下さいね。

行事予定

- ◆ 理容（ハッピー号）  
10月3日（金）終日
- ◆ 売店  
10月1日（水）午後2時30分から  
15日（水）午後2時30分から
- ◆ お花同好会  
10月9日（木）午後2時15分から
- ◆ ちぎり絵クラブ  
10月10日（金）午後2時15分から
- ◆ まんだ秋祭り（施設全体）  
10月12日（日）午前9時から正午
- ◆ ふるさとクラブ  
（1階多床室ステーション）  
10月16日（木）午後2時30分から
- ◆ 久木方言同好会・お話ボランティア  
10月22日（水）午後2時30分から
- ◆ 喫茶店（2階パブリックスペース）  
10月23日（木）午後2時30分から

※各行事には、ご家族の方もお気軽にご参加下さい。

（編集担当 広報委員会）